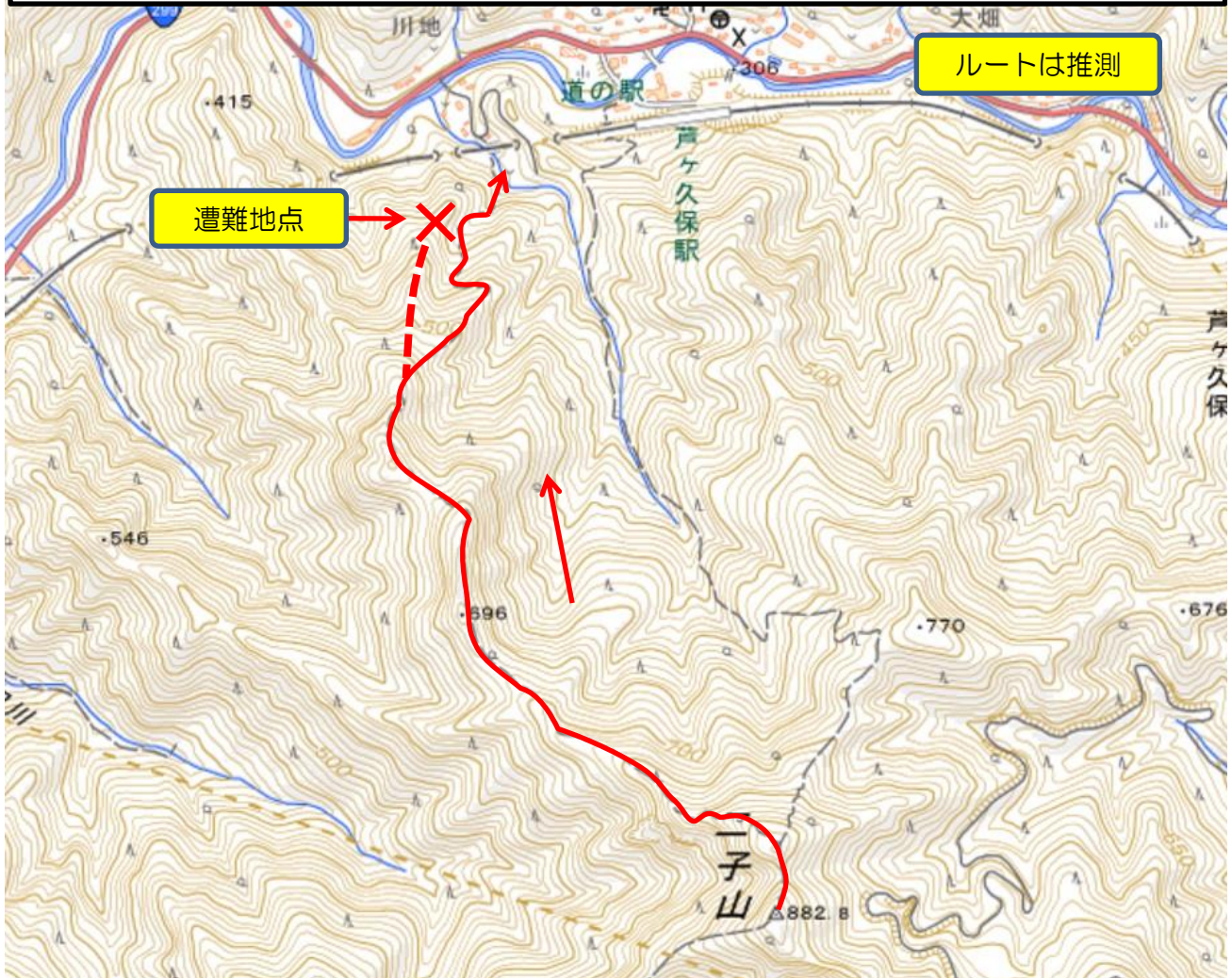


二子山遭難(2022年11月)

40代男性が下山中、道に迷い、急斜面で身動きが取れなくなり救助要請。



解説

40代男性が下山中、登山道と尾根の区別が付かず道に迷い、急斜面で身動きが取れなくなったもの。
※登山する際の注意事項・登山する際は、登山地図やアプリを活用し、こまめに現在地と進行方向を確認するようにしてください。(HP参照)

遭難時間等の詳細は分からないが、あと少しで下山ができる地点での救助要請。急斜面で身動きが取れないとあるが、登り返すことはできなかったのだろうか？また、下山時に急斜面を下るのはおかしいと思わなかったのだろうか？道迷いの心理はとても不思議である。

一方で、安易な救助要請をしないために登山者は慎重な行動をとらなければならない。自力で解決する方法はないだろうか？考え、行動しなければならない。また、普段から地図に親しんで読図を勉強してほしい。「あれっ？おかしい？」と思った場所で冷静に地図を広げ、或いは地図アプリで現在地を確認してほしい。単独登山であれば、身を守るのは自分自身しかないと感じ慎重な行動をしてほしい。